

1

海のまちと山のまちが育んだ友情
田原市・宮田村友好都市提携10周年

Friendship

●記念式典を開催

田原市と長野県上伊那郡宮田村は、平成11年11月9日に友好都市提携の調印を行い、今年で10周年を迎えました。それを記念して、11月10日（火）、華山会館において『田原市・宮田村友好都市提携10周年記念式典』を開催しました。式典には、これまで交流を温めてきた両市村の関係者約60名が出席。鈴木克幸田原市長はあいさつで、「心の交流が次の世代にも」と語り、清水靖夫宮田村長も「花と咲いたきずながいつまでも」と応えました。



●植樹を行う鈴木市長(左)と清水村長(右)

●交流の経過

昭和28年ごろ、吉胡区の青年会と伊那市西部地区の青年会でスキーを通じた交流が行われていましたが、当時は交通の便が悪く、短期間で中断されました。

時は流れて昭和44年、伊那市立伊那西小学校が、臨海学習の開始に合わせ、吉胡区との交流を小学生同士の交流という形で再現できたらと、交歓会が行われました。

その後、当時の伊那西小学校長が、退職後に宮田村南割区の子ども育成会長を務めるようになり、昭和55年から「海と山の交歓」として、吉胡区と宮田村南割区の子ども会の交流が始まりました。

交流は、地区ぐるみ・家族ぐるみで続けられ、きずなが深まっていったことから、冒頭の友好都市提携に至りました。現在も、民間交流を中心に、行政や議会の交流も行っています。



●清水村長(左)から感謝状と記念品を贈呈された皆さん

続いて、これまで宮田村と民間交流を続けてきた吉胡・木綿台・吉胡台の各子ども会と、(株)田原観光情報サービスセンター(めつくんはうす)の方々に、清水村長から感謝状が贈られました。

また、式典に先立ち、市役所南庁舎の正面玄関前において記念植樹を行いました。宮田村の花である紅白の梅が、両市村長と議会議長の手によって植えられました。

▼政策推進課 ☎23局3507



●田原市民まつりの宮田村物産展(今年)

●子ども会のスキー交流(平成20年)

